

OGANOおもてなしまちづくりプロジェクト ～文化と自然が香る町小鹿野～

概要	道の駅等の公共施設を中心として、観光機能、交流拠点機能を強化。 加えて、交通ネットワークの見直しを行うことで、町内外から人が集まり、交流することができる地域を構築。すべての人が「小鹿野らしさ」を感じられるまちを目指す。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の衰退 ・人口減少 ・関係人口の減少 ・公共交通機能の強化

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	観光拠点での人々の交流による賑わいづくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅周辺エリアを中心とした観光・交流拠点の機能強化 ・ 役場新庁舎を拠点とした観光・交流拠点の機能強化 ・ 各地域の町有施設を活用した交流拠点の機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用 ・観光
スマート	スマート技術を活用した拠点間・内移動の確保	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の回遊性を高めるスマートモビリティ、電動モビリティなどの活用 ・ 路線バスやAIデマンドタクシーなどを合わせた地域の公共交通ネットワークの形成 ・ 町営バスへ電子決済システムの導入・検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・電動シェアサイクル ・交通ネットワーク技術
レジリエント	観光・交流施設のエネルギー自給	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特性に応じた再生可能エネルギーの活用、災害時でも途絶えないサービス提供の実現 ・ 公共施設の機能強化によるエネルギーの効率化、温室効果ガス排出量の削減を図る ・ 電動モビリティ導入による再生可能エネルギーの活用及び蓄電機能の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスボイラー ・太陽光発電 ・蓄電池

- 地域拠点を中心とした観光機能、交流拠点機能向上とレジリエントの両立
- 地域特性に応じた再生可能エネルギー活用、災害時でも途絶えないサービス提供の実現

三田川・倉尾地域：

スポーツ・名水ゾーン

- おのうちつらら
- 尾ノ内氷柱、みどりの村
 - 小鹿野町総合運動公園
 - 二子山、合角ダム
 - 倉尾ふるさと館、毘沙門水、ふれあい水



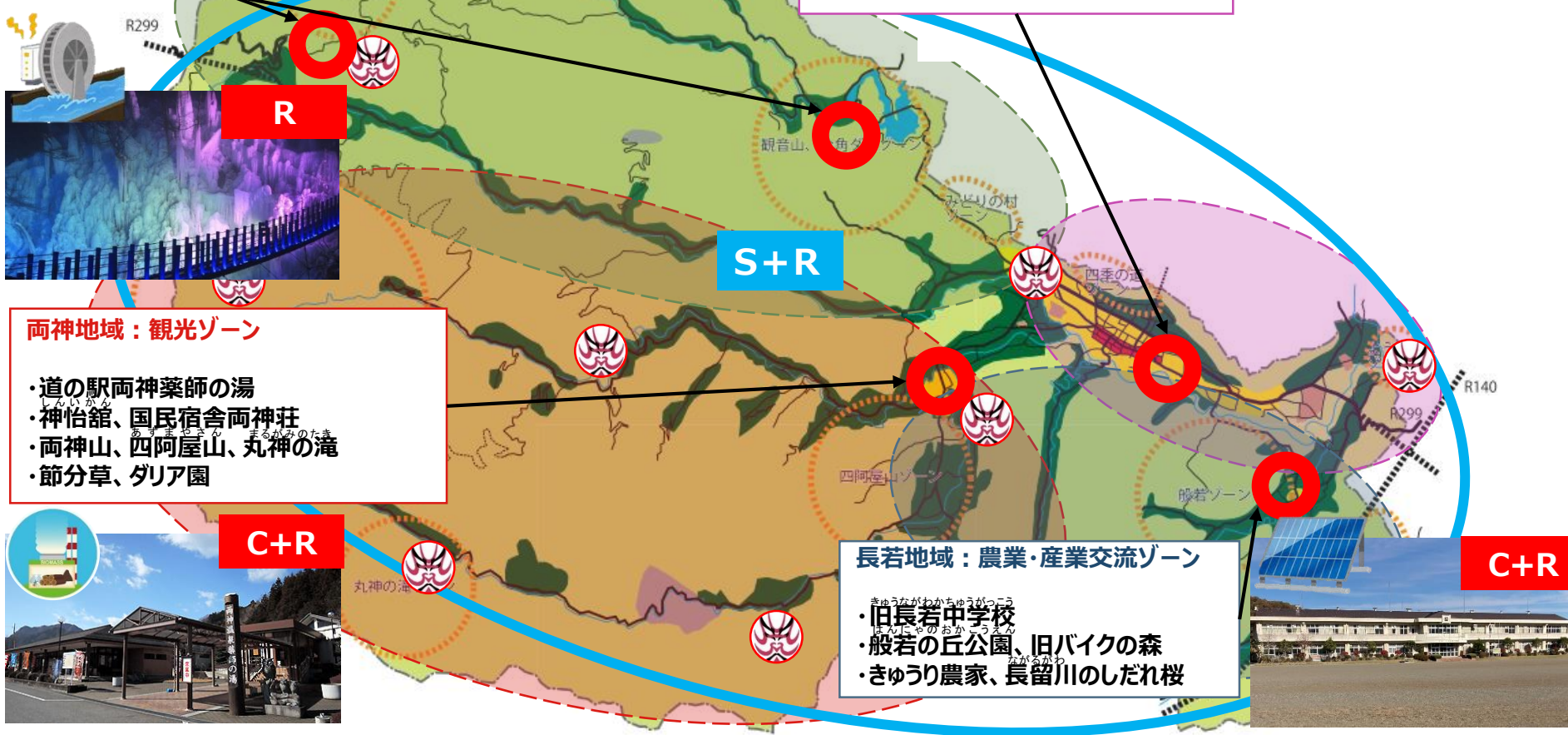
C+R

小鹿野地域：中心市街地ゾーン

- 新小鹿野町役場
- 中心市街地、観光交流館、夢鹿蔵 ゆめかぐら
- 交通の拠点（西関東連絡道路からの玄関口、バスターミナル）
- ようばけ、おがの化石館



C+R



両神地域：観光ゾーン

- 道の駅両神薬師の湯
- 神怡館、国民宿舎両神荘
- 両神山、四阿屋山、丸神の滝
- 節分草、ダリア園



C+R

長若地域：農業・産業交流ゾーン

- 旧長若中学校 まげながわちゅうがっこう
- 般若の丘公園、旧バイクの森
- きゅうり農家、長留川のしだれ桜



C+R